

# と しょ かん だ よ り



さいじょうしりつとうよとしょかん 10:00~18:00 ☎0898-65-4797 (だいひょう)

★コロナウイルスかんせんしょうたいさくのため、かいかんび・しかん、イベントのよていなどは、へんこうになることがあります。くわしくは、としょかんこうしきホームページをごらんください。

<https://lib.city.saijo.ehime.jp/index.html>

★こどもとしょかんだよりでは、あたらしいほん・きせつのでんじコーナーなど、ほんのじょうほうをちゅうしんにしょうかいしています。おはなしかいなど、イベントのよていは、としょかんカレンダーをみてください。

## あたらしいほん

(ほんのじょうほう：TRCマークじょうほう)

『おおきくなったらなんになる』  
刀根里衣／さく NHK出版



おおきくなったら、うちゅうひこうしになって、うちゅうにいたり、かしゅになって、うたったりできる。にわや、こうえんをていれする、そんなしごともあるよ。サッカーせんしゅや、せかいをたびするぼうけんか、せんせいはどうかな? なにかすごいことをはつめいすることもできちゃうかも。ねえ、おおきくなったら、なんになる?

えほん

『パパかいぞくのこもりうた』  
アントン・ロマーエフ／作 成山堂書店



そろそろねんねのじかんだけど、ねむるきなんてぜんぜんないちびかいぞく。パパかいぞくは、ちびかいぞくをだっこすると、こもりうたをうたいます。ところが、そのうたの「ちいさなペンギンが、こおりのみちでつかえて、うごけないよとこまってる」というところをきいたちびかいぞくは「ペンギンさんをたすけにいかなくちゃ」といいだし…。

えほん

『宇宙食になったサバ缶』  
小坂康之／著 小学館



「おいしい!」と宇宙飛行士(うちゅうひこうし)・野口聡一(のぐちそういち)さんが宇宙から食しボした「サバ缶(かん)」をつくったのは、高校生たちだったJAXA認証(にんしょう)宇宙食「サバ缶」をつくった高校生たちと支(ささ)えてきた大人たちの、山あり谷ありの14年を描(えが)く。

産業

『じいちゃんの山小屋』  
佐和みずえ／作 小峰書店



小学6年生の航太(こうた)は、父親と大げんかをした。「おれ、父さんと暮らしたくない!」とさげび、四国のじいちゃんの家(うち)にやってきた。でもそこは、電気も、お風呂(ふろ)も、トイレもない山小屋。シイタケの収穫(しゅうかく)やミツバチの番、炭焼きと、次から次へと山の仕事の手伝いもさせられるが…。

郷土文学



## てんじコーナー『まんまる お月さま』



真夏(まなつ)とは違(ちが)った夜空(よぞら)がキレイに見(み)える季節(きせつ)になりました。毎月(まいつき)、満月(まんげつ)はありますが、今日(こんげつ)は『中秋(ちゅうしゅう)の名月(めいげつ)』が10日(じゅうにち)になっています。とても、明(あか)るく見(み)ごたえがあります。うさぎ(うさぎ)がもちつきしているのが、見(み)えるかな?

